

## 2025年1月度 高島屋店頭売上速報

## ■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+7.2	大 宮 店	△0.8
堺 店	△0.8	柏 店	※2 △3.3
京 都 店	※1 +18.3	E C 店	+16.6
泉 北 店	△2.7	(株)高島屋各店計	+8.1
日 本 橋 店	+10.2	岡 山 高 島 屋	△7.9
横 浜 店	+3.3	高 崎 高 島 屋	+5.9
新 宿 店	+14.4	国 内 百 貨 店 計	+5.8
玉 川 店	+1.6	国 内 百 貨 店 既 存 店 計	※3 +7.7

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

※2 「タカシマヤフードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※3 2024年7月に営業を終了した岐阜高島屋の前年実績を控除しています。

## ■ 概況

- 当社はお取引先を含む従業員の就労環境の改善、働く場としての魅力向上による人材確保の観点から、元日に加え、1月2日も原則、休業日といたしました。記載の前年比は本年29日間【1月3日～31日】、前年30日間【1月2日～31日】の営業日数対比となります。
- 前年比(※既存店対比)におきまして、店頭売上高+5.8%(※+7.7%)、免税売上高+45.7%、免税を除いた店頭売上高+1.0%(※+3.0%)といずれも上回りました。
- 国内顧客では、紳士・婦人コートなど正価品が堅調に推移しました。また「春節」期間中の客数増加もあり、インバウンドが伸長、全体を押し上げました。
- 店舗別売上高は、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、EC店、高崎店が前年実績を上回りました。
- 商品別売上高(当社分類)は、紳士服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、スポーツ、美術、サービスが前年実績を上回りました。